

牧之原 だより

第 13 号
平成元年11月15日

発行

牧之原畑地総合整備土地改良区

〒427

島田市中溝町1726-4

☎ <0547> 36-0984(代)

大井なる「水」 台地にあがる！

去る十月六日に、八月改選されました総代さんによる初めての臨時総代会を開催しました。任期満了に伴います役員選挙を行い、理事三十名、監事六名の選出を願ったのであ



ります。

そして、十月二十四日開催の理事会におきまして、私が五度理事長の大役を仰せつかることとなりましたが、あらためて感慨ひとしおなるものがございます。留任をされ、或いは新任された方々も、それぞれに心新たなるもの

のがあるかと推察する次第であります。既に、「水は台地であり」の時であり、畑総事業の基幹といわれます用水事業の促進は、今日唯今の至上命題として捉え、これらに関連するものもろの課題を適切果敢に処

新役員決まる！ 就任のあいさつ

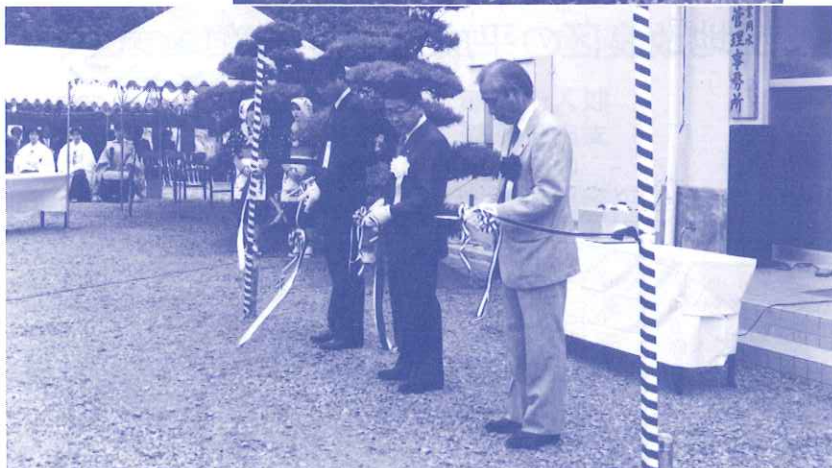
(役員 三十六名
総代 一〇三名)

牧之原畑地総合整備土地改良区

理事長 加藤 太郎



◀給水スタンドを利用する組合員(料金 m³ 五十円)



▲通水式(6月22日)中央管理事務所開設のテープカット

理し、事業が停滞することのないよう万全の措置を講じて参らなければならぬと考えておるものでございます。今後共、皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

新任のあいさつ



関東農政局
牧之原農業水利事業所
所長 北原 敏彦

六月一日付で構造改善局建設部開発課から転勤して参りました。

私は二十年程前に、国営大井川農業水利事業を担当し、その事業地区に隣接した牧之原台地の大茶園に目を見張った思い出から、この台地における土地改良事業が順調に進捗している現在、感慨を新たに着任いたしました。

日頃、牧之原農業水利事業に御協力をいただき大変ありがとうございます。

おかげをもちまして、開拓一二十年以来待望の農業用水が台地に導水され、一部地域ではありますが、灌漑及び防除用水を主体とした水利利用を開始することができました。これも皆様方の御努力と御協力の賜物と深く感謝しております。

近年の農作物の過剰基調の中で、輸入自由化問題、米価の引き下げ、農業労働力の高齢化の進展等、現下の我が国農業・農村をめぐる情勢は極めて厳しいものとなっておりますが、地域の立地条件に即した基盤整備事業は、農業・農村の振興を図る農業生産向上の基本を

なすものであると確信しております。

今後、関連する県営畑総事業との連携のもとに、早期効果発現を図るよう事業推進に努めてまいりますので、土地改良区、関係市町皆様方の一層の御協力をお願い申し上げます。



第21回臨時総代会

第三十二回臨時総代会開催

全議案原案通り可決される

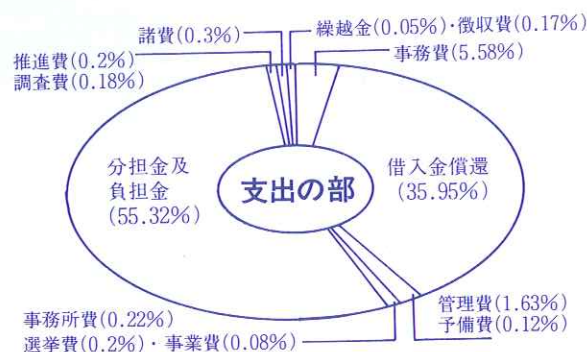
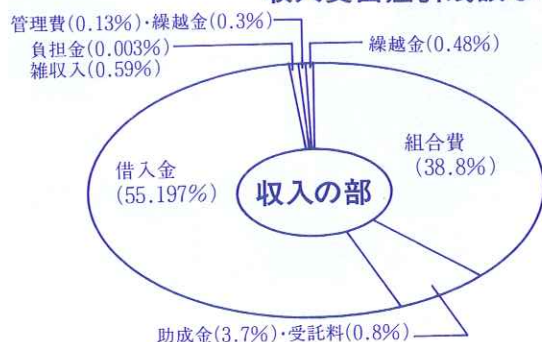
去る十月六日に牧之原畑地総合整備土地改良区第三十二回臨時総代会が、島田市農協大会議室において開催され、提出議案十二議案は原案通り可決されました。

◆審議された議事

- 承第一号 昭和六十三年度事業報告書の承認について
- 承第二号 昭和六十三年度財産目録の承認について
- 承第三号 昭和六十三年度牧之原畑地総合整備土地改良区一般会計収入支出決算承認について
- 承第四号 昭和六十三年度牧之原畑地総合整備土地改良区借入金償還積立特別会計収入支出決算承認について
- 承第五号 昭和六十三年度牧之原畑地総合整備土地改良区職員退職給与積立特別会計収入支出決算承認について
- 承第六号 昭和六十三年度牧之原畑地総合整備土地改良区経常費調整積立特別会計収入支出決算承認について
- 承第七号 平成元年度牧之原畑地総合整備土地改良区一般会計収入支出補正予算（第一次）専決処分承認について
- 承第八号 平成元年度牧之原畑地総合整備土地改良区一般会計収入支出補正予算（第二次）専決処分承認について
- 議第一号 牧之原畑地総合整備土地改良事業受益地の農地転用申請に係る意見について
- 議第二号 平成元年度長期債の一部変更について
- 議第三号 附帯決議
- 選第一号 牧之原畑地総合整備土地改良区役員選挙について

≡主地改良区の平成元年度予算について≡

収入予算額 1,233,842千円
支出予算額 1,233,842千円
収入支出差引残額なし



決定する！

土地改良区各委員会の委員

十月二十四日開催の理事会において、各委員会の委員が決定しました。

なお、委員会は、土地改良区の運営並びに施設管理を円滑に行うために設置されています。

評価委員会 委員長 杉田博邦



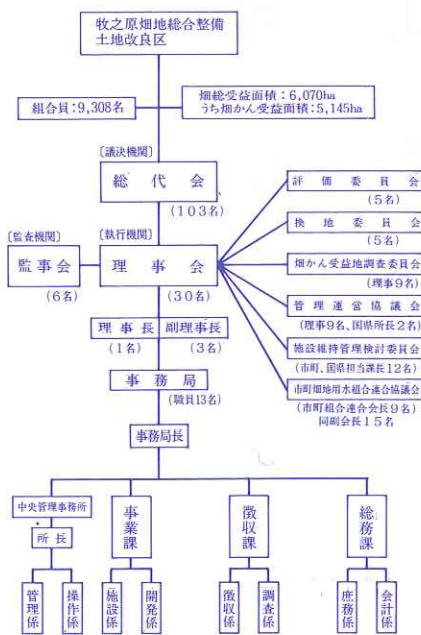
平成元年の茶業を振り返ります時、関係各位には生産量・品質価格共に先ずは納得出来る一年であったと思います。

このような年に通水元年を迎える事が出来、畑総事業も本来の目的であります灌漑事業が本格化して参りました。

先行致しました畑地造成事業も、各地で完成を致し既に生産をあげ

役職	氏名	市町名
委員長	杉田博邦	菊川町
委員	山内敬一	金谷町
"	松永善雄	掛川市
"	堀計美	菊川町
"	大石栄作	"

牧之原畑地総合整備土地改良区機構図



今後水の有効的利用又規模拡大等考える時、既存園地の基盤整備も検討されて参るものと思ひます。

委員各位、関係機関のご指導とご協力をいただく中で職務に努力して参りたいと存じます。

関係地域の今後のご繁栄を心から祈念申し上げ就任の抱負と致します。

茶産業の中心的存在にある一大

換地委員会

委員長 松浦博



今回、理事として換地委員会を担当致す事になりましたので宜しくお願い致します。

換地は、畑地造成の仕上げであり、責任ある大事な作業でありますので、公平且つ慎重に換地委員会に臨みたいと思ひます。

造成事業も十団地の造成が完了し、早いものは既に成園になっております。また現在施行中の団地に就いても一日も早く完了したいものです。

基盤整備事業が進む中で、本年は大井川の水も愈牧之原台地に揚り、畑かん事業も軌道に乗りつつあります。

管理運営協議会

この協議会は、事業推進に関する諸事項について検討協議し、もって土地改良区の適正、かつ円滑なる運営に資する、を目的に理事の互選する委員九名をもって組織しております。

氏名	市町名
柴田照二	島田市
黒田一夫	小笠町
杉山譲	金谷町
佐藤力太郎	榛原町
原間明良	相良町
増田廣士	御前崎町
大塚實	掛川市
和田秀雄	菊川町
伊藤幸雄	浜岡町

産地、牧之原に茶業振興の為のこの、事業のもつ意義は実に大きなものがあると思ひます。

この期に臨み、我々農家は積極的に取組みたいものであります。

畑かん受益地調査委員会

氏名	市町名
伊藤幸雄	浜岡町
富永努	島田市
杉山譲	金谷町
佐藤力太郎	榛原町
中田寛	相良町
増田廣士	御前崎町
中村次一	菊川町
黒田一夫	小笠町
松浦博	掛川市

市町畑地用水組合連合協議会

この協議会は、国営並びに県営事業によって造成された、畑地用水施設の適正かつ効率的な維持管理を行うとともに、畑地用水事業の推進指導を行う、を目的に関係市町内の組合員で、市町長の推薦を受けた組合員をもって組織しております。

氏名	市町名	氏名	市町名
富永努	島田市	高塚総一	御前崎町
塚本操	"	松浦博	掛川市
池谷昭治	"	田辺久	"
大塚菊次	金谷町	杉田博邦	菊川町
石田治二	"	大石栄作	"
佐藤力太郎	榛原町	坂部義則	"
中島廣美	"	宮城稔	小笠町
飯塚勝利	"	宮城長弘	"
原間明良	相良町	伊藤幸雄	浜岡町
三橋寛	"	齊藤昭一	"
蓮池良一	"	橋本邦夫	"
加藤源六	御前崎町	桜井光弥	"

金谷町安田原(8工区)
満水のファームポンド(V=6,000m³)



運転開始をまつポンプ

〔牧之原畑地用水施設の管理〕

☆畑地用水の進め方

畑地用水の施設は、営農にあわせた水利用を図っていただくため、設置いたします。そして、ブロックごとに役員さんを選出してもらい、施設の規模及び工事の進め方について検討していきます。

●事業の手順

ブロック毎に
代表者の選出



事業の説明



ファームポンド・県営支線
の位置決定



受益者のメニュー
確認と同意



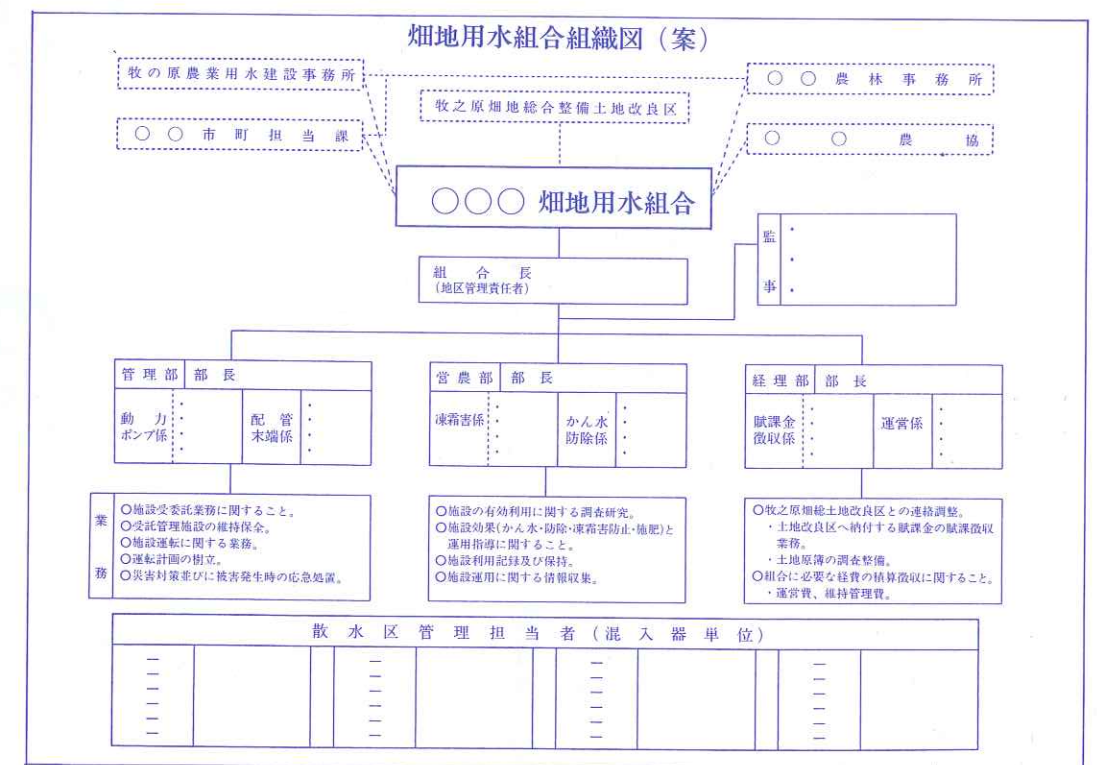
実 施

☆施設の管理方法

県営事業により造成された畑地用水施設は、土地改良区が県から管理委託を受け管理を行いますが、受益者のみなさんに効率の良い施設利用をしていただくため、各ブロックの畑地用水利用組合に管理を委託します。

この畑地用水利用組合（組織図参照）は、ブロックごとに貯水槽（ファームポンド）が設置されますので、これを利用する受益者で作ってもらい、施設（貯水槽からスプリンクラーまで）の管理運営を行ってまいります。

なお、畑地用水利用組合の運営費・修理費等は組合員が話し合っていたいただき、それぞれの組合にあった方法（例えば所有面積割、使用水量割、その他）を決め、運営していきます。



☆施設の紹介（菊川町棚草原地区）



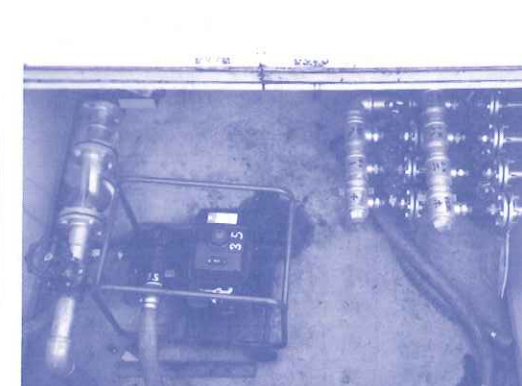
ファームポンド(V=15,000m³)とポンプ機場



ポンプ施設(手前かん水用・後方凍霜害用)



混入器と薬液稀释槽



混入器内部(防除用エンジンと各圃場バルブ)



給水栓

事業費一覧表

(単位：百万円)

工 期	総事業費	63年度迄		平成元年度 事業費	元年度 まで 進捗率
		事業費	進捗率		
(予定) S H 53~7	19,450	10,350	53.2	1,470	60.8

国営事業

現状と今後の進め方について

六十三年度までの進捗状況

国営事業は現在までに、川口取水工から金谷吐水槽までの施設がほぼ完成し、全体の進捗は六十三年度末で約五十三%となり、本年から一部茶園で水利用が図られています。

本年度は、中央・掛川幹線水路や二号調整水槽等の建設工事のほか、川口取水工で場内への進入道

路の整備等を実施しており、これをもって上水との共同工事が全て完成する事となります。

このほか、本年度の重要な作業に計画変更があります。これについては、本年度から本格的な作業に着手したもので、年度内に内部作業を完了させ、できる限り早期に土地改良法に基づく手続きを了したいと考えています。

これは、本事業の円滑かつ適正な推進に資するものであることをご理解いただき、皆様のご協力をお願いいたします。

今後の進め方

これからの国営事業の進め方としては、台地上の幹支線水路の延伸と通水区間の拡大の双方を念頭におきながら、効率的に進めていくことが必要となります。

そのため、工事施工の面から道路管理者等との協議調整により施工時期等が左右されることもあり、基本的には幹線の中でも基幹的な中央幹線水路に重点をおいて施工していく計画としていま

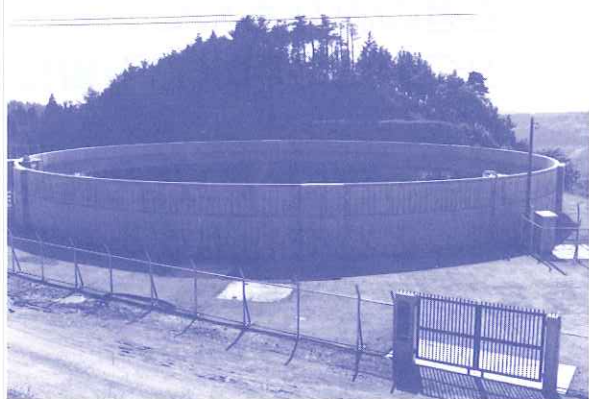
す。また、順調に行けば本年度末には神谷城付近まで、平成二年度末には棚草付近まで通水することができると見えています。そして、一日も早く御前崎町まで着水させたいと考えています。

このほか、国営幹線水路上の調整水槽のうち八つが平成二年度以降の施工となります。

これらの調整水槽は比較的大きい用地買収を伴い、その用地交渉が遅れれば、通水計画にも影響が出ることから、ここの二、三年のうちに先行的に用地を確保したいと考えています。

また、予算の面で、より積極的な予算獲得に努めており、平成二年度について現在十八億円(対前年比二十二%増)の大蔵要求を行っています。

一方、国営事業所の体制面では

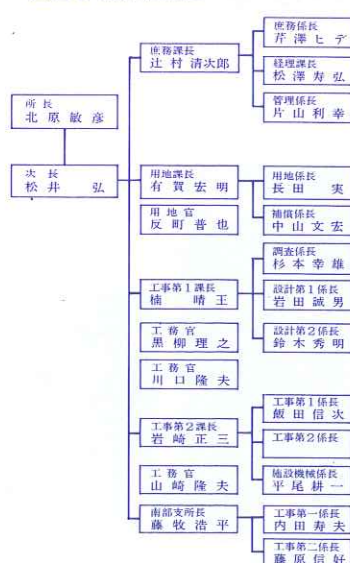


完成した掛川調整水槽

調整水槽一覧表

水槽名	容量 (m ³)	直径 (m)	予 定 地	最低必要 用地巾	必要地盤高 (目安)
1号 調整水槽	11,000	51	菊川町倉沢	60m×60m	EL201.0
2号 調整水槽	10,000	48	菊川町沢水加	平成元年度施工	
3号 調整水槽	10,000	49	菊川町牛瀬	60m×60m	165.5
4号 調整水槽	16,000	53	小笠町赤土	65m×65m	152.5
5号 調整水槽	5,000	34	浜岡町 上朝比奈	45m×45m	133.5
6号 調整水槽	9,000	46	相良町笠名 (浜岡町比木)	55m×55m	90.0
相良 調整水槽	8,000	45	相良町東萩間	55m×55m	138.0
阪本 調整水槽	9,000	46	金谷町金谷	55m×55m	191.5
榛原 調整水槽	5,000	34	榛原町切山	45m×45m	186.0
掛川 調整水槽	6,700	37.5	金谷町志戸呂	既 設	
金谷 吐 水 槽	10,100	矩形 65×31.5	金谷町志戸呂	既 設	

国営事業所機構図(平成元年10月1日)



及ぶほか、進捗も加速することとなりますから、地元の受入れ準備が十分に整っていない

は、工事施工が関係市町全域に及ぶほか、進捗も加速することとなりますから、地元の受入れ準備が十分に整っていない

本年度から工事担当部門を従来の一課制から工事第一課、二課の二課制に、金谷支所を南部支所に改組し、推進体制の充実強化を図りました。

このように今後の本事業にあつては、工事施工が関係市町全域に及ぶほか、進捗も加速することとなりますから、地元の受入れ準備が十分に整っていない

と、受給者の皆様の近辺での工事施工が多くなり何かと御迷惑をおかけするほか、場合によっては用地の提供をお願いすることがあると思いますが、本事業が円滑に進められるよう一層のご支援とご協力をお願い致します。

関係農政局・牧之原農業水利事業所

工事第一課長 楠 晴王

県営事業

施工計画と方針について

現状について

日頃、畑総事業の推進に多大な御協力をいただきありがとうございます。

紙面を借りてお礼申し上げます。

牧之原畑総事業は、昭和四十八年着工以来十七年目を迎える事業進捗も本年度末には三十七％に達することになりました。

これまでの畑総事業は、農地造成や農道などを中心に工事を進めてまいりましたが、国営事業の進展により去る六月待望久しかった

大井川の水が台地に上りましたのを期に、今年度より畑総事業の中心を畑地用水工事に移行し、受益地全域への配水に全力を上げていくところであります。

畑地用水の進め方

二つの基本方針で

畑地用水工事の進め方については、これまで何度もふれてきたところですが、記憶を新たにす意図で概要を申し上げます。

牧之原地区の畑地用水工事の進め方は、二つの基本方針を柱としております。

工事の進め方

- 第1段階…ファームボンドまで
- 第2段階…給水栓まで
- 第3段階…スプリンクラーまで

一つは、メニュー方式で、即ち皆さんの希望する施設を実施することであり、詳細は省きますが、一般的には給水栓方式か、スプリンクラー方式のどちらかを選んでいただいております。

これは、畑地用水に対する投資が個々の農家の事情により、各々異なっているとの認識から、整備水準については個々の農家に選択していただく方法であります。

もう一つの柱は、ステージ工法と言われているもので、整備水準を段階的に向上させていく方法です。

これは、全域で同じ効果を発生し、地域間の公平性を図ること、及び今まで用水を利用した営農を経験したことのない方々に対して、用水営農を習熟しながら施設を追加していく方法をお勧めするとの考えに基づくものであります。

また、第二、第三ステージにつきましては、希望に応じ予算の範囲内で併せて実施いたします。

区画整理事業の取組みを

次に、今まで畑総事業として実施しておりませんが、区画整理事業についても取組みの検討をぜひお推めします。

お茶の消費低下・産地間競争の激化・農家の高齢化・専業の二極分化など茶農業の動向を考えますと、農地の流動化・作業の機械化・軽労働化等が不可欠と思われます。この為には、これを可能とする農地の整備、即ち区画整理や傾斜地の改良が必須条件であります。

畑総事業といたしましても農道・排水路等で区画整理のお手伝いが出来そうです。期待しております。

整形された畑・改良された斜面の上に畑地用水を実施することにより、牧之原農業の発展が遂げられるものと信じております。

農作業に忙しい日々とは存じますが、寒さに向う折からお体お愛い下さい。

静岡県
牧之原農業用水建設事務所

技監兼事業課長 小林啓二

あいさつ

残暑厳しかった夏も過ぎ、朝夕涼味を覚える季節となりましたが、組合員の皆様方には、茶園の管理に余念のない毎日をお過ごしのことと存じます。

元年六月二十二日には「通水式」を挙行し、眼下に見える大井川の流水を、牧之原台地に導水しようとする永年の計画が現実のものとなりました。

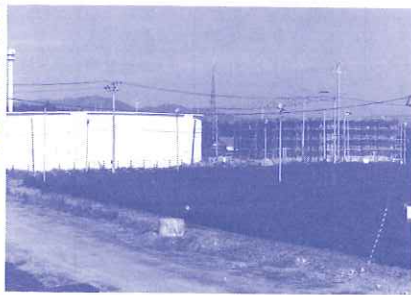
不毛の台地に開拓の鍬が入って一二〇年、年号も改って平成元年、



静岡県
牧之原農業用水建設事務所
所長 海野泰一

茶業ひとすじに大茶園を形成してきた牧之原台地は、二十一世紀をめざして大きな変革期を迎えようとしております。

去る九月二十四日、菊川町主催による「牧之原開拓百二十年記念シンポジウム」が開催され、茶園開拓者への想いと、今後の台地の将来についての関係者の熱い眼差しを感じることができました。



金谷20・21・22ブロック
工事中のファームボンド

農業用水の利用が現実のものとなった現在、水は「天から貰い水」ではなく、積極的に駆使する茶園管理が可能になりました。

気象災害を最小限に防ぎ、省力化を図り、良質生葉を安定的に生産することが、消費拡大につながる茶業経営ではないでしょうか。

平成二年三月末には、金谷町安田原地区約十三ヘクタールに対す

新役員・総代紹介

土地改良区運営の新陣容
役員 36名 総代 103名決まる。

理			事		
選挙区	氏 名	住 所	選挙区	氏 名	住 所
第1区	加藤 太郎	島田市横井	第3区	山田 勝次	榛原町勝俣
〃	柴田 照二	〃 船木	〃	山本 辰治	〃 中
〃	富永 努	〃 湯日	第4区	中村 福司	相良町大江
第2区	孕石 善朗	金谷町金谷河原	〃	原間 明良	〃 片浜
〃	杉山 謙	〃 竹下	〃	中田 寛	〃 白井
〃	石田 治二	〃 金谷河原	〃	蓮池 良一	〃 菅ヶ谷
〃	大塚 菊次	〃 金谷河原	〃	増田 勤	〃 地頭方
第3区	大石 哲司	榛原町静波	第5区	加藤 源六	御前崎町白羽
〃	佐藤 力太郎	〃 坂部	〃	増田 廣士	〃 白羽
〃	石田 忠男	〃 牧之原	第6区	大塚 實	掛川市日坂
監			事		
第1区	大塚 晃男	島田市阪本	第5区	柏原 一雄	御前崎町白羽
第4区	三橋 寛	相良町東萩間	第6区	榛村 純一	掛川市上垂木
第7区	岡本 守夫	菊川町和田	第9区	植田 宜志	浜岡町池新田

総			代		
選挙区	氏 名	住 所	選挙区	氏 名	住 所
第1区	池ヶ谷富夫	島田市井口	第3区	板倉 忠吉	榛原町坂口
〃	柴田恵壽男	〃 船木	〃	森下 十一	〃 中
〃	松下 誠一	〃 湯日	〃	松浦 正芳	〃 勝俣
〃	西澤 壽	〃 〃	〃	小関 一郎	〃 坂部
〃	岩倉 勝次	〃 中央町	〃	桜井 邦雄	〃 細江
〃	松野 晨治	〃 御飯屋	〃	畑 幸夫	〃 道場
〃	池谷 昭治	〃 阪本	〃	山本 廣治	〃 静谷
〃	塚本 操	〃 船木	〃	高塚 正治	〃 切山
〃	石川 武夫	〃 阪本	〃	清水 哲男	〃 勝間
〃	松浦 和夫	〃 〃	〃	本杉 保男	〃 静谷
〃	鈴木 種蔵	〃 高砂	〃	大石 八朗	〃 坂部
第2区	鈴木 秀三	金谷町横岡新田	〃	大関 銀也	〃 坂口
〃	杉本 琢是	〃 竹下	第4区	原木 隆夫	相良町東萩間
〃	田原 勝朗	〃 島	〃	太田 正蔵	〃 片浜
〃	堀井 喜生	〃 志戸呂	〃	清水 喜久司	〃 新庄
〃	山内 寅夫	〃 大代	〃	横山 勝一	〃 大寄
〃	鈴木 光男	〃 菊川	〃	増田 常雄	〃 鬼女新田
〃	北川 保治	〃 神谷城	〃	二俣 暢夫	〃 菅ヶ谷
〃	赤堀 喜美夫	〃 金谷	〃	池村 源六	〃 須々木
〃	秋山 晴男	〃 金谷河原	〃	神谷 常平	〃 大江
〃	増田 豊	〃 〃	〃	寺尾 平一	〃 〃
〃	鈴木 啓允	〃 金谷	〃	逸見 祐輔	〃 菅ヶ谷
第3区	山田 貞夫	榛原町勝俣	〃	鷺坂 正治	〃 新庄
〃	木村 勘市	〃 静波	〃	森下 春男	〃 東萩間
〃	飯塚 勝利	〃 勝田	〃	横山 文夫	〃 大寄
〃	中島 廣美	〃 静谷	〃	植田 勲	〃 笠名
〃	村松 直美	〃 切山	〃	寺尾 茂夫	〃 西萩間

総			代		
選挙区	氏 名	住 所	選挙区	氏 名	住 所
第4区	長野 省三	相良町男神	第7区	斉藤 幸雄	菊川町神尾
〃	中田 隆	〃 白井	〃	宮城 利夫	〃 半済
〃	芝田 元	〃 蛭ヶ谷	〃	鈴木 久雄	〃 和田
〃	酒井 勝巳	〃 須々木	〃	落合 徳一	〃 本所
〃	石津 敏夫	〃 地頭方	〃	坂部 義則	〃 東横地
〃	赤堀 有彦	〃 菅ヶ谷	〃	赤堀 昌隆	〃 三沢
〃	曾根 愛治	〃 落居	〃	岩崎 敏夫	〃 友田
〃	村松 計良	〃 東萩間	第8区	森下 辻夫	小笠町川上
〃	長野 政治	〃 大沢	〃	宮城 長弘	〃 古谷
〃	池村 英夫	〃 片浜	〃	黒田 照次	〃 赤土
第5区	柏原 幹爾	御前崎町白羽	〃	赤堀 義次	〃 丹野
〃	高塚 総一	〃 〃	〃	増田 次郎	〃 古谷
〃	高塚 喜久一	〃 〃	〃	赤堀 茂夫	〃 高橋
〃	松下 正	〃 〃	第9区	河原崎 彦一	浜岡町下朝比奈
〃	植田 太一	〃 御前崎	〃	河原崎 旭	〃 上朝比奈
第6区	松永 善雄	掛川市大野	〃	高橋 幸雄	〃 新野
〃	田辺 久	〃 〃	〃	河原崎 旨男	〃 上朝比奈
〃	落合 保治	〃 東山	〃	岡村 楨久	〃 比木
〃	杉山 克己	〃 〃	〃	植田 祐介	〃 〃
〃	松浦 勝男	〃 〃	〃	小山田 武夫	〃 〃
〃	田中 鉄男	〃 〃	〃	下島 隆	〃 新野
第7区	丸尾 雄彦	菊川町棚草	〃	村松 義郎	〃 〃
〃	大石 榮作	〃 沢水加			
〃	山本 美好	〃 吉沢			
〃	堀 計美	〃 倉沢			
〃	内藤 富次	〃 東横地			
〃	武藤 清	〃 牛淵			